

現状と課題

■ 地域課題の複雑化と協働によるまちづくりの推進

- ・ 少子高齢化の進行や市民ニーズの多様化・高度化に伴い、地域福祉、青少年の健全育成、環境・ごみ問題、交通環境問題など地域が抱える課題は複雑化し、行政だけでは解決が難しいものが増加している。
- ・ より豊かな地域社会をつくっていくためには、様々な市民活動の活性化を図るとともに、市民、企業、行政などの連携・協働をより一層進め、市民自らが決定し、行動できるまちづくりを進めることが今後ますます重要になる。(図-1, 図-2)

■ 地域におけるまちづくり活動の現状

- ・ 町内会など住民組織においては、組織加入率の低下(図-3)や活動する人の固定化、高齢化が進んでいることなどから、住民組織の活動に対する負担感が大きくなっている地域もある。
- ・ 町内会や商店街、学校、PTA、NPO、ボランティア団体など、様々な団体が連携して活発な活動が行われている地域も見られる。
- ・ 一方で、身近なところで活動や情報交流の拠点となる場を確保することや活動に必要な情報を得ることなどが課題となっている地域もある。

■ 市民活動の活発化と活動上の問題点

- ・ 社会の様々な課題に実践的に関わり、その解決を目指すNPOやボランティアなどの市民活動が活発化している。(図-4)
- ・ 一方、資金不足や人材不足などを課題にあげる市民活動団体が多いことから、自主性・自発性を尊重しながら、活動の継続や充実に向けた環境づくりが必要となっている。(図-5)

■ 地域の特性に応じた住民主体のまちづくり

- ・ 文化、歴史、地理的条件や住民構成など、地域の状況には様々な違いがある。
- ・ それぞれの特性に応じた魅力ある地域づくりを、住民が主体となって進めていくことが必要とされている。

関連データ

図-1 今後の市民活動への参加意向

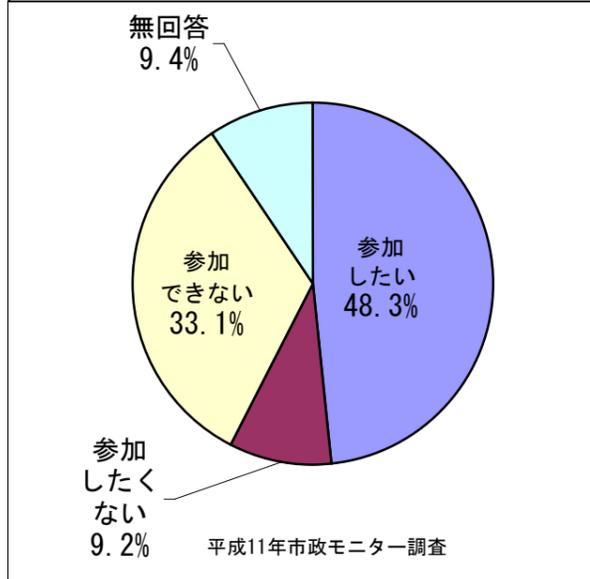


図-2 市民活動を広げていくために必要と思うこと

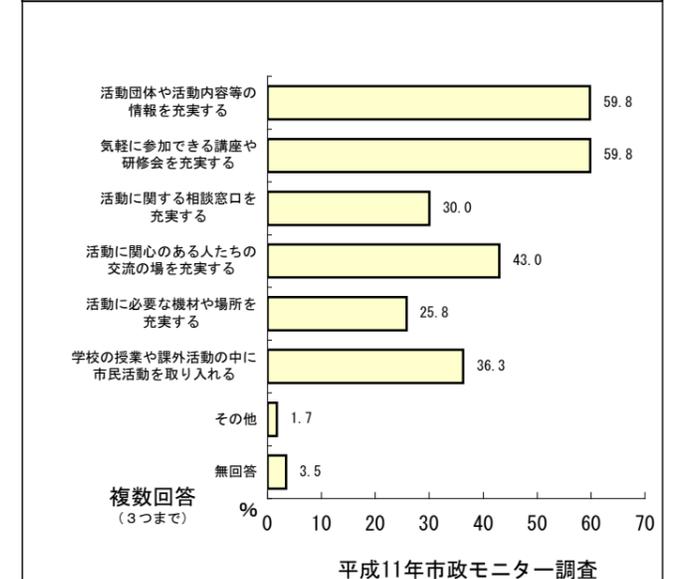


図-3 町内会・自治会の加入率の推移

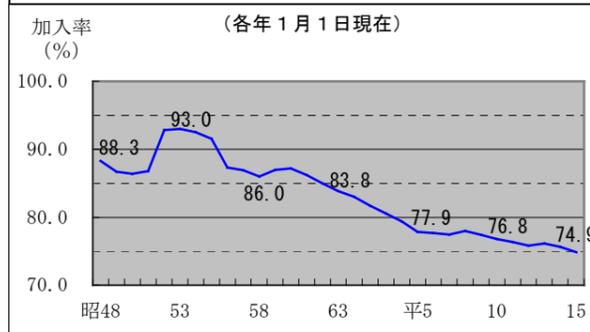


図-4 札幌市内のNPO法人数の推移

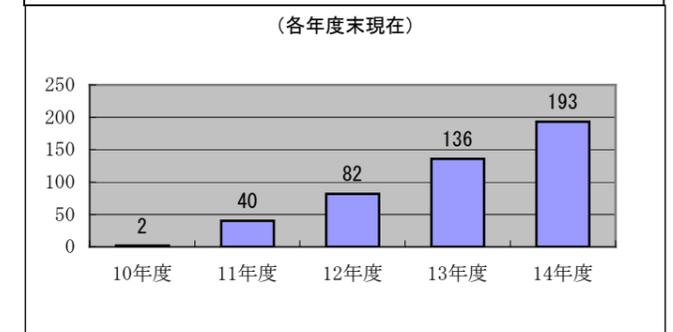


図-5 活動上の問題点

